

法人理念	ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、暖かな心のふれあいを大切にしたい支援をいたします。地域との連携を大切にし、福祉社会の繁栄に寄与いたします。福祉サービスの質の向上を目指すと共に、透明性のある健全な法人経営に努めます。		
事業所の方針	ご利用者の意向、適正、障害の特性に合わせた活動機会の提供と支援を行い、地域で自立した生活と安心して暮らしができるように支援します。ご利用者がその人らしく、楽しく、心豊かな社会生活が送れるように支援します。家庭、地域、関係機関と連携し、開放的で利便性の良い施設運営と充実したサービスが提供できるようにします。		
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生活能力向上のための経験や体験を提供し、心身ともに成長できる支援を行います。 ○一人ひとりの状態に応じた活動を通して、その子らしさの成長を大切にしながら個別支援計画を作成します。 ○新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、地域資源の利用、活用をし日常生活の充実と将来の自立や地域生活を見据えた活動を行います。 		
営業時間	平日 14時30分から 17時30分まで 長期休暇 8時30分から 17時30分まで	送迎実施の有無	あり (学校と事業所間の送迎のみ) ・ なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活の中で生活リズムや生活習慣を整え、感染症に負けない体づくりをします。 ○基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理等ができるようにします。 ○年齢に応じた精神的・身体的不安の相談と解消を行います。 ○簡単な調理やお菓子づくりを行い、生活スキルを身につけたり食に対して関心をもてるようにします。 	
	【活動・支援例】	健康チェック、排泄、更衣、身だしなみ確認や清潔保持、口腔衛生、持ち物の整理整頓、調理実習および食育	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○粗大運動では発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる遊びをします。 ○目と手の動きを協働し、指先を使った細かな活動（微細運動）を行います。 ○時間や空間が理解できるように構造化等により環境を整えます。 	
	【活動・支援例】	様々な感覚を取り入れた遊び、サーキット、ボール遊び、新聞遊び、鬼ごっこ、スライム、好ましい姿勢や道具の扱い方等の具体的な声かけ	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○カードや写真を適宜用いたり、口頭での指示を聞いたりしながら必要な情報をキャッチ出来るようにします。 ○異年齢の子ともとの交流で自分の役割を知り、率先して行動ができるようにします。 ○空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚的な支援を活用し見通しがもてる行動が出来るようにします。 	
	【活動・支援例】	視覚支援（スケジュールや活動の手順の提示、自分で確認をして自主的に行動できることをめざす）、概念形成を促す学習教材	
言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 ○遊びをとおして友達や職員とやりとりをし、動きを真似たり人との関わり方が知れるような場面を設定します。 ○自分の気持ちの葛藤や主張、折り合いをつけたり、相手に伝わるサインを身につけられるようにします。伝え方のモデルを職員が示します。 		
【活動・支援例】	始めの会の司会、活動の振り返りの発表、集団・小集団でのリーダーシップ場面の経験、ごっこ遊びやささゆりスーパーなどをとおしてその役になりきってみる。		
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○個別活動や集団活動に参加するための手順やルールを理解ができるように支援します。 ○友達との関わりの中で自分自身の感情に気づき、葛藤を調整したり自分の主張、折り合いをつけたりして過ごすようにします。 		
【活動・支援例】	一人遊びから協同遊びへの支援、遊びを通じて人の動きの模倣、気持ちのコントロール、友達とのやり取り		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○利用開始前後において、ご家庭の様子での変化、利用時の様子や成長についてご家庭と共有します。家庭状況の把握を行い、必要なサービスの提案や助言を行います。 ○個別面談ではご家族から子どものご家庭の様子や心配などについてうかがい、ご家庭でも実践できるような環境設定や関わり方を一緒に考えます。 ○年3回の「子育て広場」を通し、保護者同士が交流をし情報交換をしたり、家族（きょうだいを含む）で参加できる活動を実施します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○主に学校卒業後のや新しいサービスの移行先に、これまでの子どもの発達状況や支援方法や経過等に関する情報を提供します。 ○高校生を中心に、市内事業所の社会見学と仕事体験、先輩が働いている事業所を訪問し、卒業を意識した課題を設定して取り組んでいます。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○教育機関の関係者との連携（送迎方法、学校行事予定の確認、個別支援計画に関する連携会議） ○地域支援体制の構築のための会議に出席（自立支援協議会こども療育支援部会、個別ケース検討に関する会議等） ○就学前に通園している保育所等への訪問 ○見学の随時受け入れ・情報提供など 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○外部研修および施設内研修（接遇、虐待防止、ハラスメント、感染予防、人権等） ○ヒヤリハットから原因と問題点を明確にし、今後の対策を検討する。 ○職員会議、個別支援計画評価会議
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の行事（お花見、ハロウィン、クリスマス会、お楽しみ会、節分、一年がんばりました会） ○地区公民館作品展、夏休みグループ別社会見学、支援センターささゆり開所15周年記念行事 		